



学校便り

長崎中央児童専門学校

令和4年8月30日

第9号

文責 校長 平野

【 8月9日 平和学習 】

「被爆者なき時代から核兵器なき時代へ」をテーマに、8月9日 平和学習に取り組みました。今回はその内容について報告します。

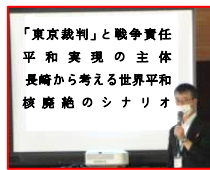
1 平和についての考察（各教室）

- ① 学校便り（平和特集号）を読む
- ② ワークシートにより理解を深める
- ③ 平和についての考えを整理する

2 平和集会（体育館）

① 校長講話

原爆投下の責任、広島碑文の主語、赤い死体、被爆者のことばなどの動画によって、学校便りを補足説明



② 嘉代子桜読み聞かせ

- ・スイミーさんにより映像と音楽を交え実施
- ・嘉代子桜について認識を深める



出版：ピースバトン・ナガサキ



③ 実行委員長あいさつ

～ 子を想う親の心が 海を渡り 世界平和を実現する～
をテーマとして、
嘉代子桜3世プロジェクトを提案

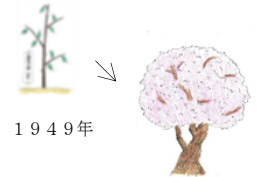


④ 嘉代子桜3世プロジェクト（シナリオと3つの力）

・平和実現への シナリオ

「嘉代子桜1世」

城山小に、亡くなった子を偲び、
母親が桜を植える



1949年

「嘉代子桜2世」

各地に、苗木が送られ平和への想いと
ともに大きくなる



2021年

「嘉代子桜3世」

世界中に、仲良し
しようというメッセージを添えて送る



2040年

「World Peace」

平和への想いを大きくした友と、核兵器なき時代を創る



2070年

絵：・水伶奈

・平和実現のための 3つの力

「親の愛」

嘉代子桜は戦争により我が子を亡くした親の悲しみを象徴したもの。世界共通の子を愛す親の想いを力として平和実現を目指す。

「きょうだいの絆」

北九州などに送られた他の嘉代子桜2世は言わばきょうだいである。絆を頼り、プロジェクトへの参加を促す。

「友の支え」

自分一人だけではなく、近くの友の支えを得て、遠くの国や地域にも友を求める。

3 平和集会（運動場）

体育館から運動場へ移動

- 育友会の協賛で1人1つ風船を受け取る
- 読み聞かせを行ったスイミーさんがメッセージカードの取り付けをお手伝い
- ペンギン水族館からアバちゃんも参加



小学生も参加

- とともに未来の平和を考える



ヒミちゃんも参加

- 彩どりを添える



③ 風船リリース

- BTS のBGMが流れるなか円になりカウントダウン「3・2・1」の合図で、決意を込めてリリース



「ワ～ァ」という歓声とともに、子ども達は皆はじけるような笑顔。この笑顔や日常生活を守るために、平和を求めていきたいという思いを強くしました。

8月9日平和学習の考察

それぞれの活動から以下のことに気付くことができました。

① 決意のことは（嘉代子桜2世の前で）

「平和への想いを大きく育て、嘉代子桜3世を世界へ送り、平和への想いを広げていく」ことを決意



② 嘉代子桜2世プレート入れ替え

仮プレートから

正式プレートへ



- 嘉代子桜読み聞かせ
心を込めて読むことで、「思いやりの心」を相手に伝えることができる

- 小学生の参加
中学生であっても、平和はより「若い世代」に引き継ぐことが大事である

- アバちゃん・ヒミちゃんの参加
キャラクターがいることで、周りが「楽しい気持ち」になれる

- 風船リリースを楽しむ子ども達の様子
平和を楽しさとつなげることで、「主体的な取り組み」にすることができる

実行委員会を中心とした今回の取り組みや皆の学びを、高田明氏による「平和と算盤」講話や、高校生平和大使等との「パネルディスカッション」につなげていきたいと思えます。



出版：東洋経済新報社